

奈良県立医科大学病院 眼科 で
緑内障を伴った網膜分離症の患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

奈良県立医科大学附属病院眼科では、当院を主とする複数施設での共同研究として以下の臨床研究を実施しております。この研究は大学長の許可を得て行われており、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】 緑内障を伴った網膜分離症の臨床的特徴に関する多施設共同後ろ向き研究

【研究機関】 奈良県立医科大学附属病院 眼科

【研究代表者】 吉川 匡宣 (眼科・助教)

【共同研究機関・責任者】

徳島大学附属病院	三田村 佳典	(眼科・教授)
筑波大学附属病院	岡本 史樹	(眼科・講師)
兵庫医科大学	五味 文	(眼科・教授)
市立札幌病院	木下 貴正	(眼科・医長)
ゆかわ眼科	湯川英一	(眼科・院長)

【研究の目的】 緑内障を伴った黄斑部網膜分離症は視力低下の原因となりますが、報告が少なくこの疾患の詳細な特徴や予後は不明です。したがって診療録を調べてその特徴や予後を検討することが目的です。

【研究の方法】 緑内障を伴った網膜分離症の患者さんの診療録を調べて、初診時から最終受診時までの変化や特徴を検討します。

●対象となる患者さん

2000年1月1日から2016年9月1日までの期間で緑内障を伴った黄斑部網膜分離症を認めた患者さんが対象です。

●診療録(カルテ)から利用する情報

眼軸長(眼の長さ)、年齢、性別、視力、眼圧、視野、眼底検査所見、眼底写真、網膜の光干渉断層計(OCT)画像、手術時の所見(手術歴のある場合)を使用します。いずれも通常の診療の際に得られた情報で、この研究のために特別な検査は行いません。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。この研究は奈良県立医科大学を主とする複数施設での共同研究です。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。研究が終了した時点で関連するデータは復元不可能な形で廃棄します。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、眼科講座費で実施しますので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。参加を希望されない場合でも不利益にはなりません。あなたに関する研究データを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒634-8521

奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学附属病院 眼科

科長 緒方 奈保子

電話 0744-22-3051 FAX 0744-22-4121